

※一部非公開

令和三年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 四、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 五、解答時間は一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章を読んで、問一と問二に答えなさい。

問一 筆者の考えを四〇〇字以上六〇〇字以内で要約しなさい。

問二 障害者に対する手当てを「既得権益」と批判するような考え方の背景には日本社会のどのような問題があるか、あなた自身の考えを四〇〇字以上六〇〇字以内で論じなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

(湯浅誠、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』、朝日新聞出版、二〇二二年、三五〜四三ページ、抜粋・一部改変)

令和三年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文試験の出題意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で、現代の政治・社会課題への関心と基本的な知識をどの程度持っているかを見ることである。

問一は、社会的弱者を「既得権益」と批判する昨今の日本政治の問題を論じた文章を読ませながら、その内容を理解し適切に要約させることで、本学科のアドミッション・ポリシーである、②柔軟かつ総合的な思考力の有無を判断することを目的としている。

問二は、本文の内容を踏まえた上で、自分自身の考えを論理的に説明することを求めている。これは、本学のアドミッション・ポリシーである、①人間社会や社会科学への深い関心と、③主体的に学ぶ意欲の有無を問う問題である。